

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	895 青少年健全育成事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
基本 施策	37 子どもたちの健やかな成長を促す	目	04	青少年育成費
		細目	441	青少年健全育成事業
		細々目	51	青少年健全育成事業
行革大綱の重点事項番号				
担当部課	コード	451600		担当者
	名称	教育委員会 阿山公民館		氏名
			中井日出男	連絡先
				(内線) 43-0514

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	阿山地区青少年	※対象件数
成果(どうする)	あやまづくり市民会議に補助金交付することにより、阿山地区における青少年健全育成の推進を図り、研修会・講演会への参加によって地域リーダーの育成を行う。	
根拠法令・要綱等	伊賀市子ども健全育成条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
事業内容	H21・青少年健全育成団体である「あやまづくり市民会議」への補助金の交付 【活動内容】 ① 青少年健全育成等研修会5回 ② 青少年健全育成等の研修会2回開催 ③ 青少年健全育成等の講演会2回開催 ④ 市事業による研修会へ参加	
社会情勢の変化等	・行政改革大綱による補助金の削減に従い、「あやまづくり市民会議」の補助金を平成18年度から平成20年度までに30%減額した。 ・平成21年度から、青少年育成地域活動報償とキャンプ等指導謝礼は、公民館事業経費へ移行した。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
青少年健全育成研修会	目標	2	目標	2		
	実績	2	実績	2	2	2
青少年健全育成講演会	目標	2	目標	2		
	実績	2	実績	2	2	2

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
青少年健全育成研修会参加者数	青少年健全育成研修会参加者数	研修会への参加者数を事業成果とみなし設定する。	人	目標	300	目標	380
				実績	351	実績	165
青少年健全育成講演会参加者数	青少年健全育成講演会参加者数	講演会への参加者数を事業成果とみなし設定する。	人	目標	300	目標	380
				実績	354	実績	337

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
直接事業費計(A)	853		395		428		428	
Aの 財源 内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	853	395	428	428			
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	1,573		1,115		1,148		1,148	

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
達成度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
達成度	サービスの水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 60%以上80%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】 H20とH21の研修会参加の減少理由
達成度	予算の繰越の有無 無	20年度は阿山公民館と共催で夏季親子ふれあい会8/31(さきさんホール)約160人参加で実施した、21年度は分散型で4自治体単位で夏休みに各市民センターにおいて小学生を対象に実施したが参加者が少なかった。22年度は集中型で夏季に実施予定。
達成度	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率的性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
効率的性	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
効率的性	【事業名】	
効率的性	受益者負担を求められることができる事業である。	○
効率的性	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
効率的性	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	あやまづくり市民会議の組織体制の充実をめざし、関係団体との連携を強化するほか、阿山公民館・阿山住民自治地区連合福祉部会との共催事業を実施することによりコスト削減を図る。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 子どもたちの健全な育成を目指して、ブックドクター朗天狗の三浦信也さんを講師に迎え、「子どもから学ぶ幸せの見つけ方」と題して、委員研修会を行い情報交換を行う中で、近年の青少年を取り巻く問題について、地域ぐるみで向かえるか話し合った。そのほか、伊賀市青少年育成市民会議と連携を取りながら、阿山支所管内を年間5回の非行防止パトロールや家庭・地域教育力向上を図った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	中井 日出男
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	青少年の健全な育成は、次世代を担う子どもたちの見守りや声かけ運動など、地域社会と一体となった住民活動が必要不可欠である。住民主体の「あやまづくり市民会議」は青少年に関係する阿山管内の全ての団体が加盟している唯一の組織であり、行政の補完を果たしているため、今後支援を行う必要があるため、現状維持としたい。
現時点における課題、その他	研修会・講演会の参加者が予想より少ない。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	研修会・講演会の日程調整、各住民自治協議会、など関係団体と共催で効率のよい、効果的な事業になるよう働きかける。